

「輝きの予感」

～人間の可能性についての考え～

今ある私たちの姿は
人が持つ可能性の
ほんの一部です

幾何学的な
心模様には
彩られ

夜空に輝く無数の星の下で
かすかに揺らぐ
ろうそくのよう

とは言え
私たちは今、
無限に輝くことができる

より強く
煌煌と輝け

無数の発見を前に
時間を
無駄にしないためにも

光に永遠に群がる
蛾のように
喜びを放て

強さを意識しながら
光輝くことを
学ぶと

ゆっくりと息を吸った向こうに
豊かな光に満ちた
宇宙が見えてくる時空を超える



グエン: この詩はこの世を儚き否定しているようだが、儚いものの中にこそ、永遠は存在しているのではありませんか？

カルロス: (驚いて) ええーっ？ 君はどんな星から来たの？

ノエル: もっと、普通の人との会話をしてもらえませんか？

グウェン: 「普通の人」の？ よく見れば、誰だって変わっているの。普通の人なんていないわ！ 普通の考え方なんて、便利な神話です。

- T Newfields (和訳: 吉田典子と Teresa)

開始: 1992年 静岡市・♪ 完成: 2017年 横浜市

